

令和二年度 入学式 式辞

新入生の皆さん、本来であれば春の花が咲き誇る頃にお祝いを申し上げるところであります、すでに緑がまぶしい時期になっております。大変遅くなってしまうしましたが、この岐阜県立国際園芸アカデミーへのご入学おめでとうございます。

ご列席の保護者の方々にも、心よりお祝いを申しあげます。

本日、ようやく皆様とともに入学式を挙行できますことは、誠に大きな喜びでございます。

このたびは新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本校としても五月末までの休校措置とともに入学式も延期しておりました。しかし、わたしとしては、入学式は新入生の皆さん、そして保護者の皆さんにとっても重要な記念すべきものであり、人生にとって大きな節目でもあると思い、中止ということにはなんとしてもしたくありませんでした。

式そのものは規模縮小と時間短縮のため、在校生の出席はなく来賓のご臨席も今年のご遠慮を頂いております。

しかしながら新入生への祝福の気持ちは届けていただいているとともに、平素から本校の教育運営に多大なご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことこの場をお借りしまして改めて厚く御礼申しあげます。

さて、国際園芸アカデミーは開校十七年目を迎え、これまで卒業生は、それぞれが生産法人、園芸卸・小売業、造園施工、公園管理などの幅広い分野において活躍してくれています。

本校での学びの特徴は、花と緑に関する高度な知識と技術を持ち、産業を現場で支える担い手として活躍できる実務者となるよう、分化した狭い専門分野だけでなく、植物を育てる生産分野、植物を飾る装飾分野、植物を植えて管理する造園緑化分野の三分野を広く学んだ上で、それぞれの分野を深く極めることにあります。このような学びを通じて、時代が求める豊かな感性と柔軟な発想を持つ、

応用力のある人材の育成を目指しています。

これから皆さんが実習で扱う植物は、動物のように自由に移動を許されず、運命づけられた地に芽生え、与えられた環境に順応して厳しい自然のもとに、耐え難いような激しい生存競争に抗い、それぞれの命を全うして、種の繁栄を成し遂げていきます。

その生命力の偉大さと自然の摂理には、これからの皆さんの人生の教えとなるものがたくさんあります。

そして植物も土も水も肥料もそれだけでは、『資源』のままです。その資源を人々が求める喜び、楽しみ、癒し、そして笑顔をもたらす『資産』に換えていくために必要な能力、技能、技術が皆さんには求められます。

是非、国際園芸アカデミーでの2年間を大切にして、時間を無駄にせず勉学に励んでください。そのために私たち教職員が一丸となりサポートしてまいりますので、学生の皆さんは悔いのない充実した学生生活を過ごして下さい。

最後に、新入生の皆さん一人ひとりが心身ともに健康で、新たな友人や二年生を始めとした多くの良き縁に出会い、有意義な学校生活を送られることを心から願い、私の式辞といたします。

令和二年六月一日

岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 今西 良共